

ID No.	127
研究課題名	質量顕微鏡法による肝癌、食道癌バイオマーカーの探索
研究代表者	瀬藤 光利 (浜松医科大学・教授)
研究組織 受入教員 研究分担者	松田 浩一 (東京大学医科学研究所・准教授)
研究報告書	<p>質量顕微鏡法によるリポドミクスで発見した 3 種の脂質分子を 1 測定で迅速に定量する系を構築した。続いて構築した系を用いてバイオバンクジャパンより提供を受けた約 40 症例の血清を解析した。その結果、非 B 非 C 型 HCC 患者の血清中 C18:0/C16:0 はその他の HCC 患者のそれと比べて有意に高いことが分かった($p < 0.05$)。今回得られた結果と過去に質量顕微鏡法で得られた結果から、非 B 非 C 型 HCC において C18:0/C16:0 は肝臓病変部と血清の両方で高くなっていることが明らかとなった。生体内においてステアリン酸はパルミチン酸から脂肪酸伸長酵素の 1 つである Elongation of long chain fatty acid member 6 (Elovl6)によって合成されている。近年 Elovl6 が非アルコール性脂肪性肝炎関連 HCC 患者の病変組織において高発現していることが報告されており、血清 C18:0/C16:0 の非 B 非 C 型 HCC における上昇は肝臓病変部における Elovl6 の高発現に基づいている可能性が高い。本研究により、非 B 非 C 型 HCC の予防や治療に繋がる重要な知見が得られた。</p>